

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

総務環境委員会 監査委員条例の一部 改正を継続審査に

当委員会に付託された議案は、塩尻市税条例の一部を改正する条例ほか条例案件10件、事務の委託についての事件案件1件、平成24年度一般会計予算など予算案件7件の計18件で慎重審査の結果、継続審査すべきとした一つを除きすべて原案どおり認めることとしました。

継続審査としたのは監査委員条例で、識見を有する者のうちから選任される監査委員のうち、一人を常勤とできるよう改めようとするのですが、その必要性については更なる調査研究と、慎重な議論が必要という理由で審査を継



監査委員事務局



防災行政無線戸別受信機

続することとしました。

長野県内では長野市だけが常勤監査委員を置いています。これは人口25万人以上の市に義務付けられていることによるものです。松本市でも常勤の監査委員は置かれていません。

監査委員制度は、市の事務が法令遵守し正確に行われているかをチェックし、施策の評価をも行うという意味では大変重要な機能であり、常勤監査委員を置くことが本市に本当に必要かつ妥当と認められれば、地方自治法上、常勤化することができま

議論の中では、監査委員事務局をもっと充実させることや、従来の内部監査に加え外部監査の導入などの意見がありました。

塩尻市の現状が緊急に常勤監査委員を置かなければなら

ない状況かどうか、もう少し時間をかけて検討することとしたものです。

平成24年度予算中、霊園の新規整備事業については平成26年頃から着手したいが場所についてはまだ未定である。防災行政無線の戸別受信機の設置については難聴地域から10件、それ以外の地域から2件の申請があった。

国保特別会計予算中、医療費高騰を抑制するため、ジェネリック医薬品の本市での利用状況については、国では平成24年度までに30%以上を目指しているが、本市の利用率は21%である。今後希望カードの配布を通じ、利用率の向上に努力するとの答弁でした。

福祉教育委員会 医療費無料化を 中学生まで拡大

福祉教育委員会に付託された、平成24年度一般会計予算など10件の議案について、慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。請願1件は、審査の結果、継続審査になりました。

塩尻市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例について、中学生まで拡大することによる増加人数、必要経費、対象児童数と障害のある児童数を質問。増加人数は、2千人で年間2千200万円の増額を見込み、対象者は9千321人、うち129人(1.38%)が障害のある児童であるとの答弁でした。

塩尻市介護保険条例の一部を改正する条例について、第5期の介護保険収入の総額、運用、支払準備基金の残高、保険料不足の場合の対処方法を質問。3年間で32億円の収入、基金の残高は予定見込額で8千600万円、給付費の額により補てんし、3年間で計画的に全て取り崩す予定で、財源不足の場合は県の財政安定基金より借入れ、第6期に保険料から償還との答弁でし



市内小学校の図書室